令和８年度 第１回
笠岡市上下水道事業運営審議会
資料

令和8年6月26日開催

令和８年度 第１回 笠岡市上下水道事業運営審議会資料

－目次－

１　水道事業の概要
２　水道事業ビジョンについて
３　経営戦略について

1　水道事業の概要

笠岡市水道事業の沿革

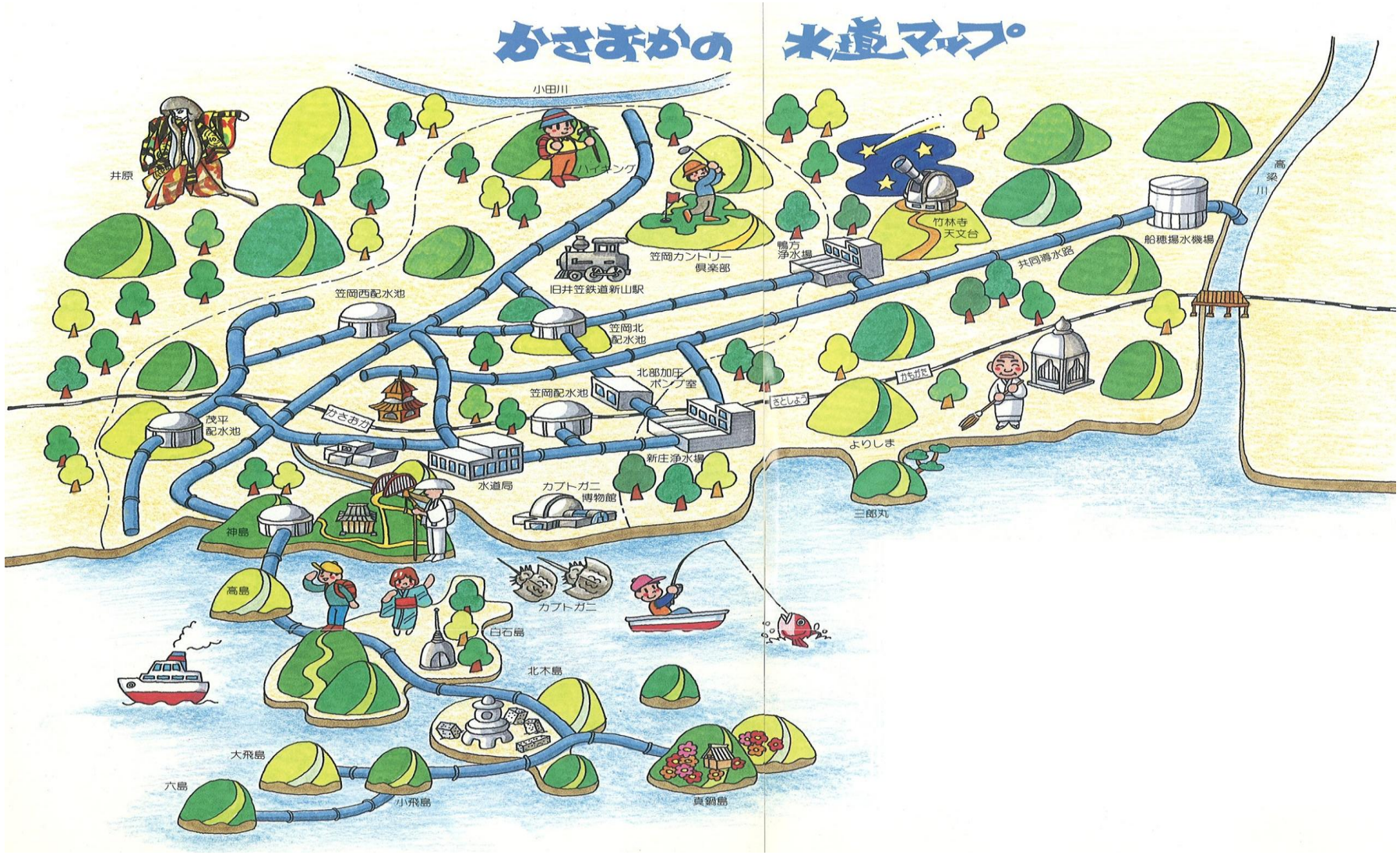
笠岡市の水道事業は、1953年(昭和28年)に創設され、翌年の1954年(昭和29年)から市街地の一部に給水を開始しました。しかし、十分な水源がなく、瀬戸内特有の温暖少雨の気候や、市域の拡大に伴う給水人口の増加により、慢性的な水不足に悩まされてきました。

笠岡湾干拓事業計画の過程で、農業用水、工業用水、上水道用水を合わせて高梁川から導水することが決まり、1968年(昭和43年)に笠岡市、里庄町、鴨方町(現浅口市)、寄島町(現浅口市)で岡山県西南水道企業団を結成し、共用導水路からの受水による用水供給事業の創設工事に着手しました。これによって、導水路、浄水場、配水施設等が整備され、1972年(昭和47年)6月に水道水が構成市町に供給されるようになり、笠岡市の慢性的な水不足が解消されました。

現在、笠岡市水道事業は、加圧ポンプ室35か所、配水池42か所、送水管約36km、配水管約473kmの水道施設を有し、市内全域を給水区域として、陸地部はもとより島しょ部には海底送水管により本市最南端の六島まで、日々途切れることなく給水を実施しています。

1　水道事業の概要

笠岡市の水道事業



1　水道事業の概要

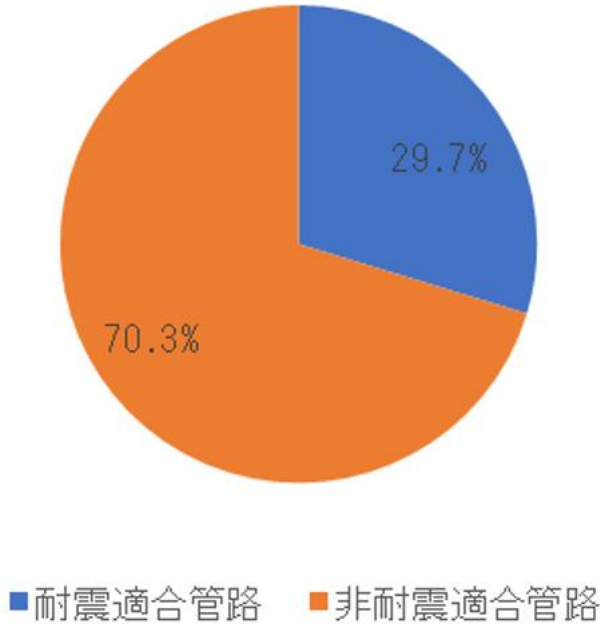
笠岡市の給水人口

項目＼年度	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
給水人口（人）	50,184	49,322	48,681	47,853	47,135	46,415	45,540	44,846	44,003	43,223
一日最大給水量（m3/日）	18,194	17,556	18,767	16,259	16,140	18,426	15,631	15,505	15,192	14,875
配水量（千m3/年）	5,465	5,462	5,477	5,286	5,265	5,158	5,156	5,040	4,833	4,857
有収水量（千m3/年）	4,970	4,970	4,880	4,757	4,687	4,650	4,621	4,537	4,518	4,478
有収率（%）	90.9%	91.0%	89.1%	90.0%	89.0%	90.2%	89.6%	90.0%	93.5%	92.2%

1　水道事業の概要

笠岡市の管路の耐震化状況

	基幹管路延長 （ｋｍ）	耐震適合管路延長 （ｋｍ）	耐震適合率 （%）
笠岡市	133.3	39.5	29.7
岡山県	3,823.1	1,160.5	30.4
全　国	116,636.5	51,975.7	44.6



1　水道事業の概要

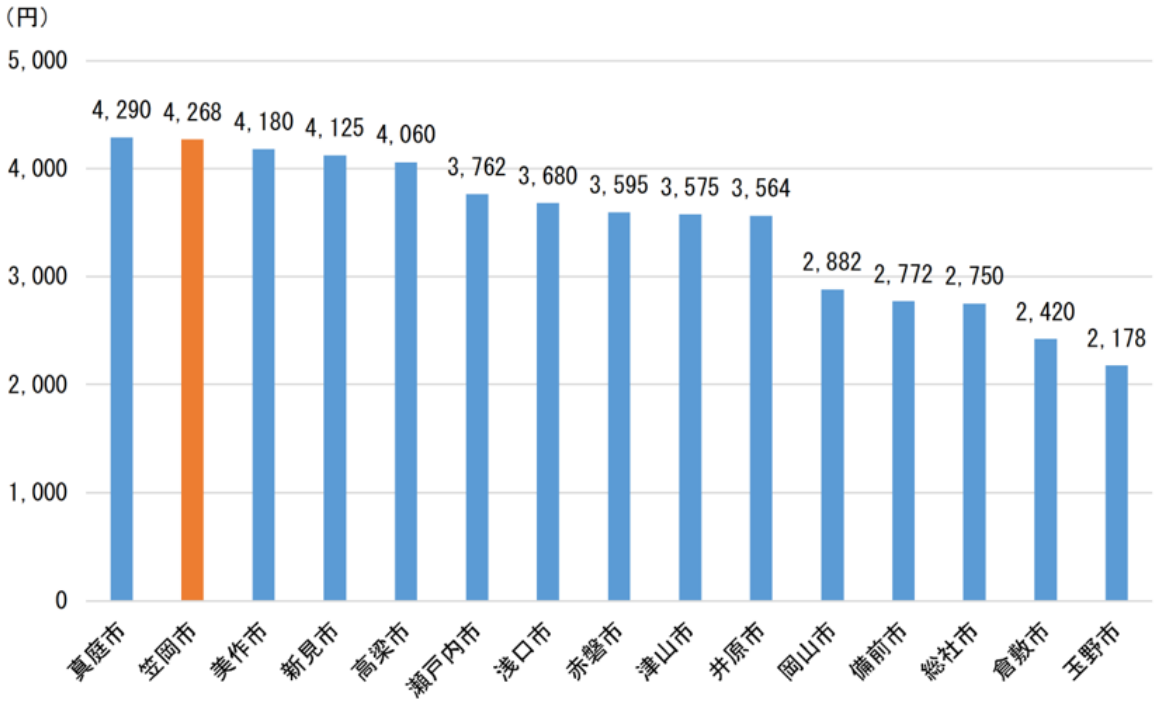
笠岡市の水道料金

（１ヶ月あたり）

口径／種別（ミリ）	基本料金		従量料金			
	水量	料金（円）	水量	1㎥につき（円）	水量	1㎥につき（円）
13 ミリ	4 ㎥まで	1,000	－	－	－	－
	4 ㎥を超え 8 ㎥まで	1,600	8 ㎥を超え 30 ㎥まで	190	30 ㎥を超えるもの	210
20 ミリ	8 ㎥まで	2,000	8 ㎥を超え 30 ㎥まで	190	30 ㎥を超えるもの	210
25 ミリ	8 ㎥まで	2,600	8 ㎥を超え 30 ㎥まで	190	30 ㎥を超えるもの	210
40 ミリ	－	4,600	1 ㎥を超え 30 ㎥まで	190	30 ㎥を超えるもの	210
50 ミリ	－	7,800	1 ㎥を超え 30 ㎥まで	190	30 ㎥を超えるもの	210
75 ミリ	－	19,500	1 ㎥を超え 30 ㎥まで	190	30 ㎥を超えるもの	210
100 ミリ	－	32,500	1 ㎥を超え 30 ㎥まで	190	30 ㎥を超えるもの	210
150 ミリ	－	100,000	1 ㎥を超え 30 ㎥まで	190	30 ㎥を超えるもの	210
浴場営業用	100 ㎥まで	14,300	100 ㎥を超えるもの	170	－	－
特別用	－	－	1 ㎥につき	250	－	－

※水道料金の計算例：メータ口径が13㎜、２ヶ月の使用水量が40m³の場合

基本料金（16m³まで）	1,600 円×２ケ月＝3,200 円
従量料金（40－16＝24m³）	190 円×24m³＝4,560 円
基本料金＋従量料金	3,200 円＋4,560 円＝7,760 円
消費税（10%）	7,760 円×10%＝776 円
合計（水道料金２ケ月分）	8,536 円（7,760＋776）
水道料金１ケ月分	4,268 円（8,536 円÷２）

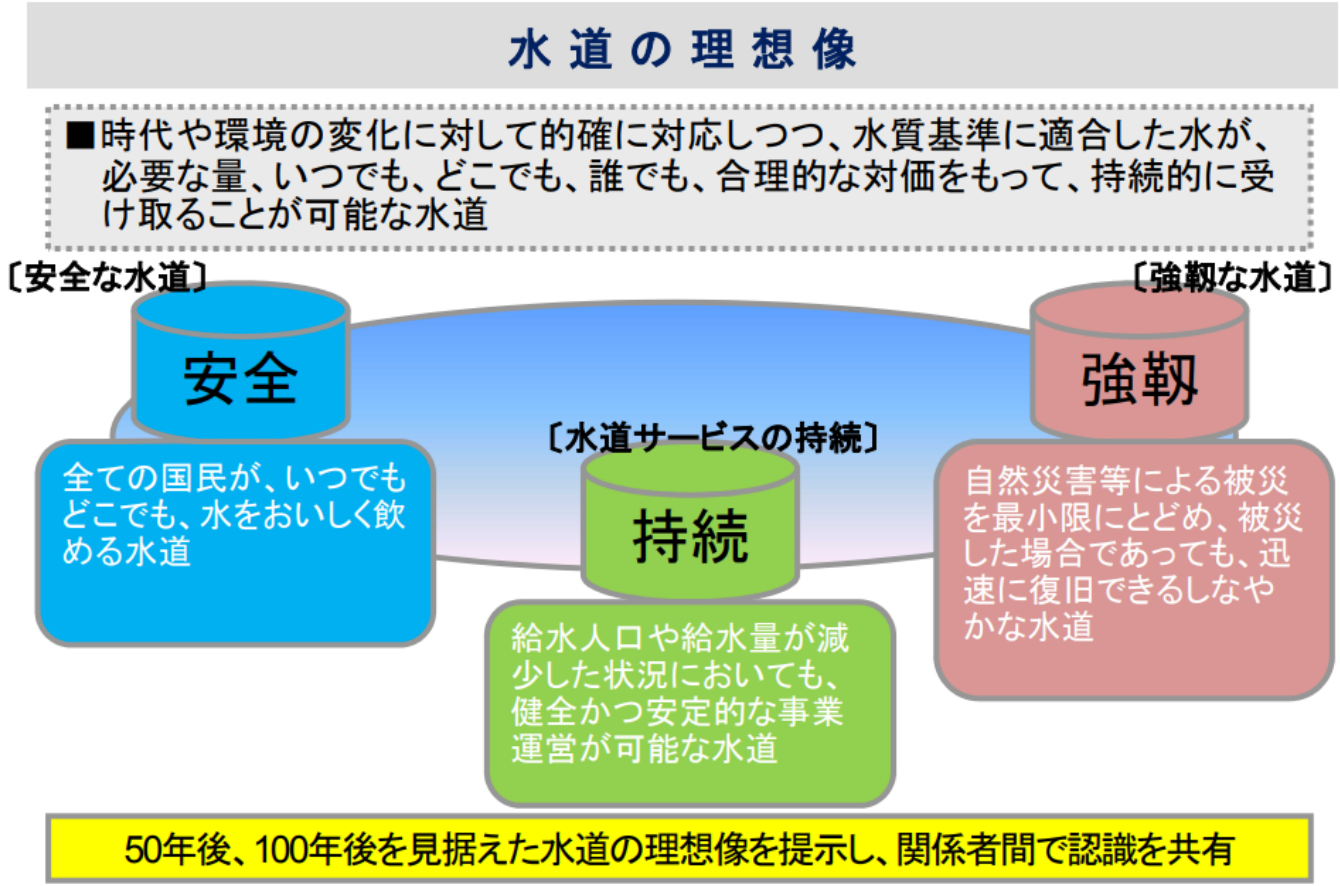


岡山県内都市別水道料金の比較
県内15市（料金は、１ヶ月・口径13㎜、20m³使用時、税込み　令和7年4月現在）

2　水道事業ビジョンについて

水道ビジョンとは

国の新水道ビジョンでは、これまで国民の生活や経済活動を支えてきた水道の恩恵をこれからも享受できるよう、今から50年後、100年後の将来を見据え、水道の理想像を明示するとともに、その理想像を具現化するため、今後、当面の間に取り組むべき事項、方策を提示します。

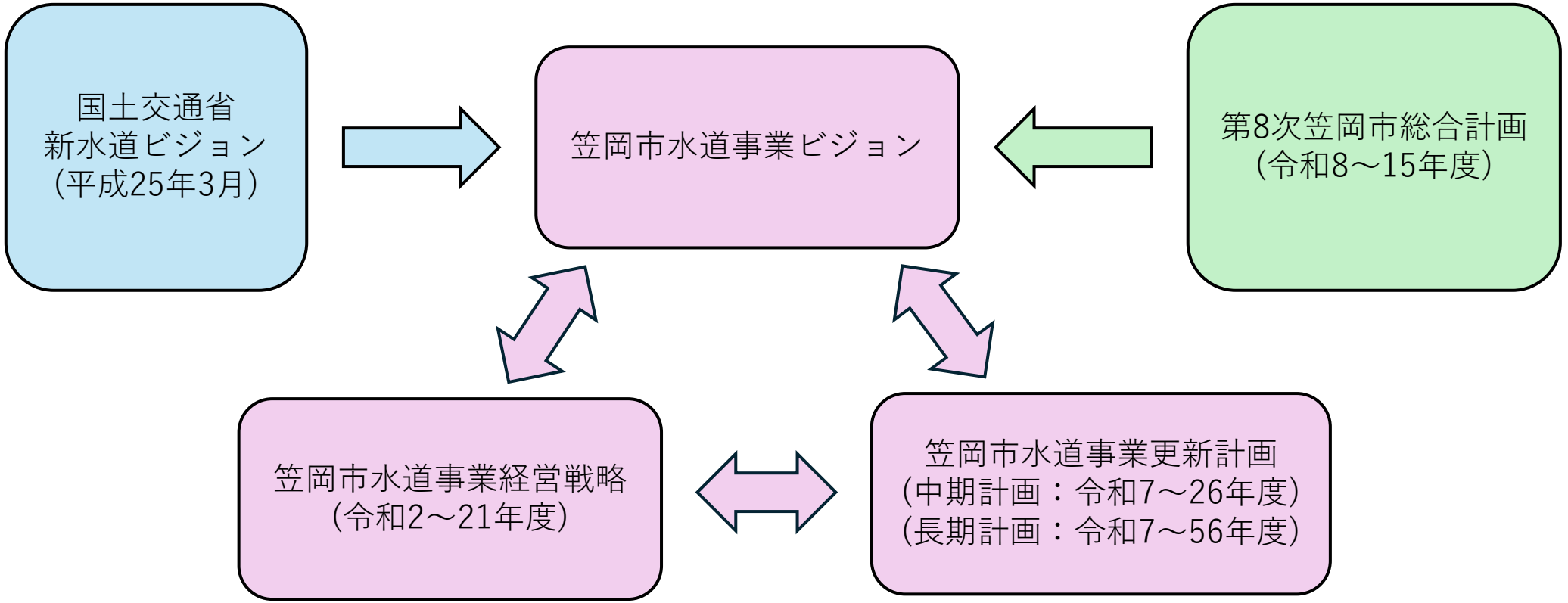


(出典)国土交通省「新水道ビジョン」より

2　水道事業ビジョンについて

笠岡市水道事業ビジョンの位置づけ

笠岡市水道事業ビジョンは、「新水道ビジョン(国土交通省)」、「第8次笠岡市総合計画」との整合性を図り、水道事業の現状と課題、水需要の見通し等を踏まえて、将来の方向性を示す基本方針を明確にすることによって、**今後10年間の水道事業経営に関する施策目標を定め、これらを実現するための施策を示します。**



3　経営戦略について

経営戦略とは

水道事業の経営戦略は、ビジョンを実現するための投資・財政計画です。

経営戦略の内容

以下のような内容を検討・策定します。

・料金収入や人口動向を踏まえた収支見通し

・老朽化施設の更新や耐震化などの投資計画

・経営の効率化や人員、組織の整備方針

水道事業ビジョンと経営戦略の一体化について

水道事業ビジョンと経営戦略を一体化することで以下の効果があります。

・ビジョン及び経営戦略の計画期間を統一し、目標管理と財政計画を一元化することで、施策の進捗状況の把握が容易になり、評価・見直しの強化が図れる

・ビジョン実現のための投資計画や財政計画を経営戦略で裏づけることができる